

指標 8.9.2

指標名、ターゲット及びゴール

指標 8.9.2 観光産業における就業者

ターゲット 8.9 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。

ゴール 8 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

定義及び根拠

- 定義

TSA 第7表

- 概念

観光産業における雇用に関する表

- 根拠及び解釈

『TSA Recommended Methodological Framework 2008』に沿って観光産業の就業者数・雇用者数、労働時間数を推計している。

データソース及び収集方法

国民経済計算、労働力調査、就業構造基本調査、経済センサス-活動調査、毎月勤労統計調査、鉄道統計年報

算出方法及びその他の方法論的考察

- 算出方法

観光雇用は、『TSA Recommended Methodological Framework 2008』に沿って観光産業の就業者数・雇用者数、労働時間数を推計する。観光産業の就業者数等は、国民経済計算のフロー編付表3（経済活動別の就業者数・雇用者数、労働時間数）をもとに産業分類を組み替えて作成。組み替えに当たっては、『労働力調査』、『就業構造基本調査』、『経済センサス-活動調査』、『毎月勤労統計調査』、『鉄道統計年報』を用いて産業分類の細分化を行う。

○ コメントと限界

海外諸国では、『TSA Recommended Methodological Framework 2008』によらず、各産業の就業者数等に観光比率（TSA 第6表で推計）を乗じて、観光客への財貨・サービスの提供に従事した就業者数等を推計しているところもあるが、我が国では推計精度等の点から、現時点では推計していない。（なお、TSA 第7表とは別に、第IV編において商品別観光消費に商品別雇用係数を乗じて、観光客への財貨・サービスの提供に従事した就業者数を推計している。これら海外諸国との観光雇用の国際比較に当たっては、第IV編における推計結果を用いることが適切である。）

データの詳細集計

—

参考

- ・旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究
- ・旅行・観光サテライト勘定（TSA : Tourism Satellite Account）
https://www.mlit.go.jp/kankocho/tokei_hakusyo/tsa.html

データ提供府省

国土交通省観光庁

関連政策府省

国土交通省観光庁

担当国際機関

世界観光機関（UNWTO）、国際労働機関（ILO）